

参加に当たってのお願いと諸事項

集合 — 8月3日(日)午前9時

新宿駅西口 小田急の向かいスバルビル前

●そこからは皆で貸切バスで行きます。集合は時間厳守でお願いします。場所は西国分寺ではありません。お間違えのないように。



解散 — 8月9日(土)午後4時半頃

集合した、新宿駅西口 小田急の向かいスバルビル前

●道路事情で多少到着時間が前後する場合があります。ご了解下さい。

持ち物 —必ず名前を書いてください!

必ず自分で持てるようなザックに、入れられる範囲の荷物にしてまとめて下さい。

着替え

洗濯するので4、5日分で大丈夫です。

パジャマは特に要りません。

羽織れる薄手のシャツ、

厚手のトレーナー、長ズボンが必要です。

洗面用具

タオル

水着

帽子

脱げにくいビーチサンダル

雨具(登山用の雨具は上下分かれたものを)

ぞうきん

サブリュック

懐中電灯

水筒

初日の昼食弁当

筆記用具

保険証コピー

寝袋を持っている子は持参してください。野外で寝ることもあります。

●必ず自分で荷物の用意をさせてください。自分の持ち物かどうかを分からない子がいます。

●忘れ物が大量に出ます。名前をはっきり書いてください。

●無くしたり壊れたりしたら惜しいものは持たせないで下さい。

●農作業などや野外の活動で、服や靴は汚れます。着慣れた服・履きなれた靴など汚れても惜しくない物を持ってきてください。

●余分なお金、ゲーム機、携帯電話、お菓子は持たせないでください。

●虫かご・絵を描く道具・勉強道具などは各自でご判断ください。



夏の学校期間中に子供たちやスタッフが宿泊する研修センター(右)と古民家(左)

編集発行 キララ新聞社

山梨県北杜市白州町横手 2259 電話 0551-35-0131 FAX 0551-35-0132 <http://www.hakusyu.jp/kilala/> info@hakusyu.jp

発行日 2008年7月4日

キララ夏の学校 2008

開催期間：2008年8月3日(日)～9日(土)

開催地：山梨県北杜市白州町横手

主催：キララ新聞社

後援：白州郷牧場・白州森と水の里センター

今年の「夏の学校」で予定されているプログラム

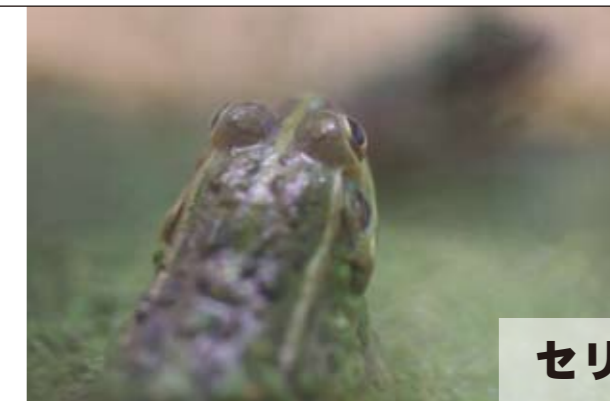


アンジェロさんの料理教室

中目黒～自由が丘～田園調布「パッポ・アンジェロ」オーナーシェフのコツォリーノ・アンジェロさんによる、「料理教室」。ピザ・パスタ・ソーセージづくりなどを教わります。イタリア語の教室や手品もあるかも。

日本在住歴20年で、2児の父親でもあるアンジェロさんは、イタリアの食文化を伝えるため、全国の小学校で親と子を対象にピザや生パスタの作り方をボランティアでレクチャーされています。

アンジェロさんは日本全国の食材を探す旅で、白州郷牧場の野菜と卵に出会い、今回の夏の学校で料理教室を開催して下さることになりました。



セリ田の生き物観察

「NPO法人・田んぼ」理事長の岩淵成紀さんに教わりながら、白州のセリ田の生き物観察、植生観察をします。カエルから小魚、昆虫や水生生物まで、たくさんの種類の生き物がみつかることでしょう。

ホタルカゴづくり

白州横手のおばあさんたちから伝授された、ホタルカゴを作ります。大麦をつないで四角形を積み上げるように織り込んでいくカゴです。中にホタルを入れ、夜にその灯りの風情を楽しむのです。



その他の様々なプログラムは次ページに

2008 年夏キララ開校に向けて

秋山 眞兄 (校長)

親の子殺し。子の親殺し。「誰でもよかった」という殺人。これらの氾濫をどう考えればよいのだろうか。

家族の崩壊、教育の荒廃、貧富の格差の絶望的な増大、人間の総幼稚化、インターネット・バーチャル世界の氾濫と没入、街角のカフェが寝泊り場所かつ住民票所在地…。

若者達は、なにも確実なことがなく、漂い漂い続ける。それは漂泊でもなく、流浪でもない。まして、逃亡でもない。

言葉が消滅し、忘れ去られた驚くべき時代。暴露しても、批判しても、原因を探っても、残るのは虚しさで徒労感。

その一方で、「愛」「純愛」物語の復活と歓迎。それは当然な成り行き。しかし、それもまたバーチャル世界の中で…。

「愛し合うとは、互いに見つめ合うことではなく、ふたりの方向を見つめることである」と語ったのは、あのサン＝テグジュベリ (『星の王子さま』作者)。

今、一つの方向を見つめることが可能なのだろうか。そもそも、一つの方向を、若い者たちは、自分たちで見出せるのであろうか。

そのような事態の中で、キララの夏の学校が開校する。

農作業をして、収穫をして、それを料理して食する。鶏・牛の世話をし、田んぼで遊び、自然を観察し、本を読み、映画を楽しむ。

口喧嘩をし、時には取っ組み合って泣きじゃくる。そして、少し大人になったような、密かな経験を。する。

朝起きて、洗面・トイレをして、掃除をするけれど、山や森を散策し、川で泳ぎ、お祭りで踊りまくる。

汗を流し、虫に刺され、日に焼け、ちょっとしたことで笑い転げ、雷雨から逃げ惑い、夕焼けで顔が染まり、星空を眺める。

ただただ、愚鈍なことの積み重ねの生活だ。

集まってくるのは、子ども・おとな・男・女・農民・隠居・職人・会社員・教員・建築屋・ガラス屋・音楽屋・店員・外国人…。人間のごった煮だ。

これがキララの学校。

君の参加を待っています。

その他の様々な夏の学校プログラム

きららに来れば地球がわかる (自然科学講座)

白州は、水に恵まれた日本列島のなかでも、特に良い地下水が湧く場所です。

この水のみなもとは足元の岩石です。白州の花崗岩は日本列島の成長とともにつくられ、それは地球の45億年の営みとつながっています。この壮大な物語を肌で感じるために、石の観察や登山などの野外実習と座学を組み合わせた自然科学講座を開いています。今年も子供たちと、いろんな石を探しに行きます。(奥地拓生)

竹の食器作り

鶏さばき

発酵がわかる! 麴づくり

漬物や味噌・納豆など日本の伝統的な食物はほとんど「発酵」という微生物の活動によって完成する食物です。その「発酵」の一部分をこの夏の学校で経験してみましょう。

麴を仕込み、甘酒をつくり、漬物を漬けて、食べてみることで「発酵」の実際を体験するプログラムです。夏の暑さを乗り切るための滋養強壮飲料「甘酒」を造って飲みましょう。

「発酵」は日本の文化です。

お問い合わせ・緊急連絡

は下記のいずれかで承ります。

- ・白州郷牧場 0551-35-4520
- ・白州森と水の里センター 0551-35-0131
- ・秋山澄兄 (事務局) 携帯電話 090-1691-5944
- ・秋山校長携帯電話 090-5406-3523
- ・担当池原携帯電話 080-1088-1856

その他 メールでのご連絡は、info@hakusyu.jp で承ります。(参加申し込みはご遠慮ください) キララの学校のホームページをご覧ください。<http://www.hakusyu.jp/kilala/>

また右の QR コードを読み取っていただくことで、携帯電話からも「きららの学校」の最新情報をご覧いただけます。



山登り

白州は南に「南アルプス (赤石山脈)」、北に「八ヶ岳連峰」、などたくさんの山々に囲まれた場所にあります。昨年の夏の学校では「編笠山 (2542m)」に、小学校高学年以上の子供達が挑戦しました。登山途中、豪雨やヒョウにうたれるなど、山の天気に苦しめられながらも、皆無事に下山しました。

今年も、甲府市内にある自然食レストラン「ナチュラルグレース」のオーナーシェフであり、昨年子供達を引率・案内してくれた三村さんに、山登りの醍醐味を教わりながら、自然の厳しさや素晴らしさを学びます。

キララ祭り

川遊び

きららに来れば世界が見える

参加費

小学生 42,000 円 中高生 45,000 円

開催地で合流する場合は、

小学生 38,000 円 中高生 40,000 円

●兄弟姉妹で参加の場合、2 人目から各 4,000 円の割引制度があります。ご連絡下さい。

●白州町・横手の子供達の参加に当たっては参加の様式と参加費用について別途対応となります。歓迎いたしますのでご連絡下さい。

参加費振込先

①山梨中央銀行 国分寺支店 普通口座 916410

キララ 見田由布子

②郵便振替口座 00200 - 4 - 95036

白州・キララの学校

●郵便振り替え用紙は夏の学校案内に同封してお届けしております。ご利用ください。

●申し込み後、お振込みください。

参加申し込み

7 月 25 日までに同封の申し込み用紙を、白州森と水の里センター FAX 0551-35-0132 まで FAX 送信してください。

●申し訳ありませんが、参加申し込みは FAX でのみお受けしています。

●記載事項は可能な限り詳細にご記入ください。締め切りは 7 月 25 日、先着 40 人までとさせていただきます。

白州について

こんなところ

学校の開催地は南アルプス・甲斐駒ヶ岳の麓、標高 800m の山梨県北杜市白州横手の山里です。南アルプスと深い森に抱かれた高原の村里です。村を縦横に花崗岩の水が走る名水の里でもあります。豊かな自然が子供たちの人格形成を応援します。

農と生活のフィールド白州郷牧場は

子供たちの教場となる農場は 6000 羽の平飼養鶏と 10 頭の和牛と 5.1 ヘクタールの農地で畜循環農業を 26 年間営んでいます。今年、農場は 5.1 ヘクタールの畑に「有機 JAS」認証 (JAS) を取得しました。これで子供たちが農に触れ自然を学ぶ田畑は「確かな安全性」が公的機関によって保証されました。子供たちを迎える畑はいつもの夏野菜が揃うよう今急ピッチで準備を進めています。

その他、2 棟の宿泊棟となる研修センター、麴や発酵食品をつくる加工所、視聴覚室を含んだ図書館などの付帯施設と研修センター背後の森も子供たちの生活と学びの場となります。

農場のスタッフと村の人たちと都会の大人と

子供たちと一週間のキララの学校をつくる大人たちは、農場のスタッフ、横手の村のおじさんおばさん、そして都市の大学や高校で教える教師たち、幼稚園や保育園で働く人、様々な専門職の人たち、そしてキララの学校 OB たちです。

子供たちは様々な大人たちや山や森や水や生き物を見て触れて付き合い生活し学ぶ一週間になります。

毎日の食材は、農場の農産物を主体に BMW (バクテリア・ミネラル・水) 農法を実践する全国の仲間の農業者たちから届けられる農産物を利用します。

食材の原型に触れ、自分達で収穫し調理し、楽しく食べるという生きた食育が実践されます。

◎子供たちの緊急時の医療は隣村の武川診療所でお世話になります。(保険証のコピーは忘れないでください)

白州郷牧場

ホームページ <http://www.hakusyu.jp/>

電子メール info@hakusyu.jp

「きららの学校」 参加申込書

フリガナ

参加するお子さんの氏名：

保護者さまの氏名：

住 所：

電 話：

緊急時連絡電話番号：

保護者さまのメールアドレス

パソコン：

携帯：

参加するお子さんの性別：男・女

お子さんの生年月日： 平成 年 月 日

お子さんの現在の学年： 小・中・高 年

●初めて参加の方は紹介者またはきっかけをお教えてください：

●白州・キララの学校に参加したことのある兄弟・姉妹がいたら
お名前をお書きください：

●お子さんについて特にご心配なこと、キララスタッフが注意を要することなど
あればご記入ください：

●参加申し込みはこの用紙にご記入後、FAXで送信下さい。

FAX 番号 0551-35-0132 白州森と水の里センター

または 0551-35-2970 白州研修センター までお願い致します。